

祝 卒業

校歌

一、受天高く聳え立つ
賈河の流れ長へに
そこに無限の暗示あり

二、自然の育む搖籃に
崇高偉大の心もて
瑞穂の国の使命をば

三、人生風波狂うとも
眞摯素朴を旨とし
至誠天地を動かさば

四、正義は吾等の命なり
吾等の力尽きんとき
世は常暗となりぬべし

高橋源太郎 作詞
近藤時太郎 作曲



発行
秋田県立大農業高等学校
新聞委員会

印刷 (株)秋田精巧堂
TEL 0187-62-2340



農に稲穂の校章
農は国の基
瑞穂の国を象徴する稲。秋田
県の基幹である稲作農業を勉
学し、これに励むことを使命
と考へ明治三十七年制定され
たものである。



不撓は
我等の力なり
校長 坂本 寿孝

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学した令和四年の四月、民法改正により成年年齢が十八歳に引き下げられました。これにより、十八歳以上の人は親の同意を得ずにさまざまな契約や行動ができるようになりました。「成人」とは、心身ともに成長し、一人前の「大人」として社会的に認知されることを意味します。ただし、「大人になる」ということは、単に年齢で区切れるものではありません。経済的な自立、責任感、他人を理解する力、一般常識を身につけることなど、さまざまな要素が関わっています。何よりも「大人」としての成長は、人それぞれの経験や考え方に基づいて進むものです。

「大人になるということ」について、フランス文学者の内田樹氏は次のように述べています。「後悔」には二種類ある。「何かをしてしまった後悔」と「何かをしなかった後悔」です。やらなかったことへの後悔は、その後心影を落とします。「あ



三年生 令和6年度 三大ニュース

第一位 最後の大農祭
今年度は「マリオ」をテーマとして大農祭準備に励み、それらの中で散らばって段々製作に取り組みました。日々華やかになっていく教室を見れば本格的な焼きそばを販売し、普段の実習で楽しんでいたことが、とても素敵な思い出になりました。

第二位 クラスマッチ
毎年クラスマッチが近づくと、体育の授業で自分たちが出来る種目を一生懸命練習しました。それぞれの得意な競技で全力を出して、試合も白熱しました。当日はお互いの声を掛け合っていた成績を残すことも、クラスの仲を深めることができ、とても素敵な思い出になりました。

第三位 運動会
運動会では、途中天気が悪くなってしまうことが、クラス全員が一丸となって種目に励み、一緒に喜び合ったり笑い合ったりして楽しむことができました。結果は総合優勝で、記憶に残る運動会となりました。

第一位 クラスマッチ二連覇
私たちが三日は今年もクラスマッチ総合優勝を飾り、無事二連覇を果たすことができました。一方、バドミントンでは三年連続初戦敗退という記録も残りました。それでも優勝できたのは、クラス一丸になつて応援などを頑張ったからだと感じます。

第二位 大忙し！ 大農祭！
大農祭で三日はフライドポテトを販売し、ありがたいことに見事完売することができました。予定よりコンロの数を増やしたり調理室を使ったりと、工夫して販売できたのもよかったです。

第三位 遅すぎた集合写真
他のクラスが夏に撮影を終えた集合写真ですが、三日はここぞと人が集まらず、いつまでも「集合できない写真」でした。十一月末にようやく撮れたことや、雨の中の撮影だったのもよい思い出です。

第一位 大農祭
今年の大農祭では、クラスデコや三年生ならではの模擬店など、準備からクラスみんなで作りました。完成度の高いものを造り上げることで、皆さんの多さに対応しきれなかった心配なところもありましたが、みんな協力し合い自分の役割を果たしたことで、大きな達成感を味わうことができました。仮装行列も、クラスメンバー「ハロウィン」に合わせた衣装などを考え、お客さんに楽しんでもらえたのではないかと思います。

第二位 クラスマッチ
クラスマッチでは、バレーに出場し2回戦で敗退してしまいましたが、クラスみんな声をかけあって楽しくプレイすることができ、とてもよい思い出になりました。どの競技でも一人一人が必死に取組んだ結果、総合三位という成績を収めることができました。高校最後のクラスマッチをクラスみんな楽しんで終えられました。

第三位 日常
三Eは個性豊かなクラスです。みんなそれぞれが笑い合っている姿が、とても嬉しかったです。学校行事などでは、協力して臨機応変な対応ができるクラスでもあります。今しかできないことを自分たちらしく全力で楽しめた高校生生活でした。

第一位 ファッションショー
三年H組で最も盛り上がるファッションショーは、みんな協力してテーマに合った服をいちから製作し、保護者の方や地域の方々に披露することができました。完成するまではとても大変でしたが、ショーをやり遂げたときはみんな達成感でいっぱいでした。

第二位 クラスマッチ
クラスマッチでは私たちのクラスは三年連続で優勝することができました。その他の競技でも準優勝や第三位など健闘しました。どの試合も最後までみんなで協力してスポーツを楽しむことができた。なかでも三年生の時のクラスマッチがいちばんクラスの絆を深めることができました。

第三位 日々の生活
生活科学科は、検定試験が多く毎日忙しくも忙しいです。そのため、みんなで協力し合い助け合うことが重要になります。みんなで検定の直前まで教え合い、一生懸命に挑むことができました。また、個性溢れる三十四人の私たちのクラスはとても賑やかで毎日が楽しい教室でした。

令和6年度 進路状況

令和7年2月現在

全日制課程	進学				就職			
	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	県内	県外	公務員	自営等
農業科学科	4	12	3	23	13	3	3	0
食品科学科	0	2	4	8	11	3	5	0
園芸科学科	0	2	0	5	20	2	1	0
生活科学科	0	6	7	13	5	3	0	0
計	4	22	14	49	49	11	9	0



令和6年度 農業部 活躍の記録

『野菜部 研究の日々』

野菜部 関口 宗浩

今年度も農業部はさまざまな大会に参加し、たくさんの賞を獲得することができました。その中から、野菜部と果樹部の活動を紹介します。

みどり戦略学生チャレンジ

ヘラクレスオオカブトとシタケ廃菌床で広がり、循環型農業！！

秋田県立大曲農業高等学校 野菜部

1. 研究の目的

秋田県は人口減少・高齢化全国ワースト、私達は農業高校生として**持続可能な農業を普及し秋田を盛り上げたい！活動開始！！**

持続可能な農業の普及・教育

秋田・農業に興味を持つ人を増やす！！

2. 取組内容

地域の農業を研究し菌床シタケの生産が盛んなところを発見！菌床シタケの課題は**大量の菌床廃棄**...しかしその菌床を餌として食べるのが**ヘラクレスオオカブトの幼虫**！！私達は幼虫の糞に栄養があるのでは？と予想！！秋田県立大学の金田教授に分析を依頼し**肥料成分があることを確認**し、ヘラクレスオオカブトを飼育・販売している会社と連携し、**ヘラクレス堆肥として販売**することになりました。

年間4000t 生産！ 全国有数の産地！

成分分析比較

	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO
鶏糞	1.7	1.6	1.7	0.8
牛糞	2.1	3.4	1.8	1.1
ヘラクレス	2.3	3.3	1.1	1.3

分析：秋田県立大学 金田教授

ネギの窒素成分で価格比較

	必要量	価格
化成肥料	180kg	32,670円
ヘラクレス堆肥	782kg	7,820円

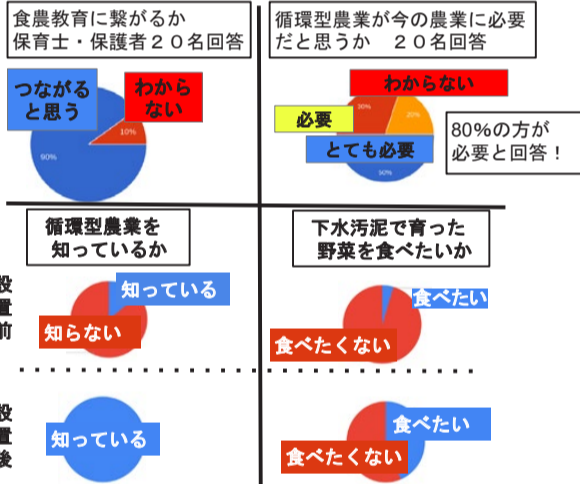
さらに、地域の方・子供達に**循環型農業を身近に感じ、理解してもらうために下部でヘラクレスオオカブトを上部でレタスを育てるキット**を作成し、保育園・小学校・大仙市役所・県立農業科学館に2週間設置しました。各箇所での循環型農業の理解の深まりやキットの教材としての効果についてアンケートを実施し、変化を確認しました。



廃菌床を活用したヘラクレス堆肥を地域に広め循環型農業を普及させたい！

3. アンケート結果

各箇所でのアンケート結果から**循環型農業に一定の理解・興味を示してくれたと確認**。またヘラクレス堆肥と同様循環型堆肥の下水汚泥堆肥での栽培野菜のアンケートも実施し確認。



4. 考察・まとめ

栽培キットでレタス、ヘラクレスを観察したことにより**農業への興味・関心が向上**したことを確認しました。さらに、ポスターや紙芝居を活用し簡単に農業の課題を伝え循環型農業の必要性をアピールしたことも効果的だったと考えます。今後はこの普及活動を研究紹介・コンテストなどで全国へ展開し、**循環型農業を秋田県、更には全国を巻き込んだプロジェクト**としヘラクレスオオカブトとシタケ廃菌床を活用した循環型農業を全国に世界に誇る**秋田県、日本の宝**にできるように全力で取り組んでいきます。この活動を通じ、**農業には人と自然を繋ぐ力、人と人を繋ぐ力があることを体感**しました。農業の奥深さを知り、ますます好きになりました。



今年度野菜部では、ヘラクレス堆肥を使用した食農教育の教材を作り、農業で秋田県を盛り上げたいと思い研究を行ってきました。掲載作品は、**農林水産省主催「みどり戦略学生チャレンジ」**で全国大会出場を果たし、**東北ブロックグランプリ**を受賞したものです。

同様の活動内容で、経済産業省主催「地域創生コンテスト」東北農政局局長賞、農業クラブ東北大会プロジェクト発表分野III類優秀賞、毎日農業記録賞優秀賞及び東京農業大学賞をいただきました。自分たちの行っている研究を全国の方に知っていただく機会をいただき、とても嬉しく思っています。一人でも多くの方に興味を持ってもらい、地域の未利用資源から生まれた堆肥を使用した循環型農業を普及し、秋田県としてこの大曲農業高校のPRに繋がっていくことを期待しています。



『夢の舞台に立って』

果樹部 渡辺 唯莉

私たち果樹部は、令和6年10月22日から24日まで第75回日本学校農業クラブ全国大会、岩手大会に出場し、分野II類(国土保全・環境創造)で優秀賞を受賞しました。私たちは3年生は、1年生から実験を開始し、プロジェクト活動に励んできました。研究では、試行錯誤の連続でデータ収集や実験など、苦労したこともありましたが、そのたびに部員や顧問の佐々木雄生先生と解決策を話し合い、目標としていた環境に優しく農家に寄り添った農業、地域の実現を目指した取り組みができました。

全国大会では、新たに2年生が加わり新体制で挑むこととなりました。2年生は今まで大会に出場した経験がなかったことから、分からないことが多く、プレッシャーも大きかったことと思います。このことから、3年生は今までの経験を活かし、2年生が安心して大会に挑めるようサポートしてきました。3年生も、全国大会という大舞台に向けて今まで以上に気合を入れて練習を重ねました。例えば発表者は、過去の全国大会の映像から自分たちの方法や態度には何が足りないか考えたり、先生方に伝



大会前日は今までの練習の成果を発揮できるようお願いを鼓舞し合いました。盛岡駅の駐車場で練習したことは忘れられませんが、発表当日は、東北大会以上に大きなホールで、かつレベルの高い発表が多く緊張しましたが、これまでで一番良い発表ができたと感じています。特に2年生は初めての大会であったにもかかわらず、堂々と発表して感動しました。

私たちは全国大会出場という貴重な経験をさせていただき、仲間とコミュニケーションをとり、協力する事の大切さを学びました。この経験を糧に、3年生はそれぞれの進路先で努力していきます。2年生は、来年度も実りある研究ができるよう応援しています。



- 新聞委員
- 一 E 草 秀
 - 二 A 草 梧
 - 二 E 安 後
 - 二 A 高 康
 - 三 E 佐 未
 - 三 A 播 谷
 - 三 A 摩 合
 - 三 B 藤 夢
 - 三 B 橋 雅
 - 三 B 藤 羽
 - 三 B 齊 拓
 - 三 B 藤 真
 - 三 B 明 日
 - 三 F 田 中
 - 三 F 稀 良
 - 三 F 鈴
 - 一 H 細 藍
 - 二 H 富 誠
 - 二 H 岡 矢
 - 二 H 菊 紫
 - 二 H 地 音
 - 二 F 工 藤
 - 二 F 蒼 依
 - 一 F 松 山
 - 一 F 莉 桜